

「孤立」から「つながり」、そして「支え合い」へ

関連する主な人権課題：高齢者

1 テーマの背景及び指導の観点

- (1) 今後、日本が迎えようとしている超高齢社会は、一人一人が長生きして良かったと誇りをもって実感できる社会であることが求められている。そのためには、高齢者にかかわる人権侵害に積極的に対応することや、高齢者が快適に暮らすことを可能にするためのユニバーサルデザインの普及などを図ることが重要である。
また、今日、高齢者は全体としてみると、健康で活動的であり、経済的にも豊かな人も多い。そのため、従来の「高齢者は、健康面でも経済面でも不安を抱えている人が多い」という画一的なイメージや、就業における年齢制限、社会的活動に参加しにくい状況などを見直すことも必要である。
- (2) 内閣府の「高齢者の生活実態に関する調査」[平成 20(2008)年]においては、「一人暮らしや健康状態がよくない者、未婚や離別した者、暮らし向きの苦しい者は、日頃の会話が少なく、友人・近隣との付き合いが少なく、困ったときに頼れる人がいない者が多い」と指摘されている。このような社会的孤立は、生きがいや尊厳といった高齢者の内面にも深刻な影響を及ぼし、「孤立死」にもつながる問題である。高齢者の社会的孤立を防ぎ、社会との交流のある人間らしい生活を維持していくために、地域社会における支え合いが求められている。
- (3) 都市化や核家族化の進行などにより、生徒が日常生活において、高齢者と交流する機会は減少している。そのため、学校は、生徒が高齢者と自然に触れ合い交流する機会を設け、高齢者から生き方や様々な生きた知恵を学び、高齢者に対する感謝と尊敬の気持ちをはぐくんでいくことが大切である。高齢者との交流としては、例えば、授業や学校行事などに地域の高齢者を招待して、高齢者の豊かな経験に基づく話を聞いたり、高齢者福祉施設などを訪問して、介護の簡単な手伝いをしたりするなどの活動が考えられる。

2 展開例（研究課題(1)）

(1) 学習のねらい

固定的な見方（ステレオタイプ化された意識）と偏見や差別との関連性について理解し、超高齢社会への明るい展望を身につける。

(2) 展開例

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
1 高齢者に対するイメージをカードに記入する。	○ イメージの理由も記入させる。
2 記入したカードを「プラスイメージ」「マイナスイメージ」「どちらともいえない」に分類する。	○ 自分のイメージが、固定的な見方になっていないか点検させる。
3 高齢者の現状について調べ、自分のイメージと比較する。	○ 夢や生きがいをもって活躍している高齢者の存在に気づかせる。
4 ふり返りを行う。	○ 超高齢社会への明るい展望を身につけさせる。

3 参考

(1) 高齢者支援に関わる資格（例）

<p>ア 国家資格</p> <p>(7) 看護師 傷病者などの療養上の世話または診察の補助を行う専門職。</p> <p>(イ) 社会福祉士 高齢者が安心して相談や助言・指導その他の援助を受けることのできる専門家。福祉の内容やサービスについての情報提供、保健・医療・年金などの制度や施設の利用法の紹介など、福祉サービスを求める高齢者や障害者、そして介護をしている家族に対して相談・援助を行う。「社会福祉士及び介護福祉士法」[1987(昭和62)年]による国家資格。</p> <p>(ウ) 介護福祉士 身体が不自由な人や高齢者などに、入浴・排泄・食事・衣服の着脱・移動などのさまざまな身の回りの介護を行ったり、介護者である家族への指導や助言をしたりする専門的な介護知識や技術をもった専門職。「社会福祉士及び介護福祉士法」[1987(昭和62)年]による国家資格。</p> <p>イ 公的資格</p> <p>(7) 介護支援専門員(ケアマネジャー) 居宅介護支援事業所・介護予防支援事業所・各種施設（介護老人福祉施設など）に所属し、介護保険において要支援・要介護と認定された人に対して、アセスメントに基づいたケアプランを作成し、ケアマネジメントを行う職業。介護全般に関する相談援助・関係機関との連絡調整・介護保険の給付管理などを行うことができる。</p> <p>(イ) 訪問介護員(ホームヘルパー) 1級取得者は、訪問介護事業所において「サービス提供責任者」として、後輩の育成指導、利用者とヘルパーとのコーディネートなどができる。2級取得者は訪問介護において家事援助及び身体介護ができ、取得後実務経験3年以上で、「サービス提供責任者」に就くことができる。また、高齢者施設においても、身体介護ができる。</p>
--

(2) 兵庫県内の主な4年制高齢者大学

(平成23(2011)年3月現在)

名 称	所 在 地	電 話
兵庫県いなみ野学園	〒675-0188 加古川市平岡町新在家 902-3	(079) 424-3342
兵庫県阪神シニアカレッジ	〒665-0845 宝塚市栄町2丁目1-2 ソリオ2	(0797) 85-8880
うれしの学園生涯大学	〒673-1415 加東市下久米字依藤野 1227-18	(0795) 44-0711
西播磨高齢者文化大学	〒679-4311 たつの市新宮町宮内 458-7	(0791) 75-3663
但馬文教府みてやま学園	〒668-0056 豊岡市妙楽寺 41-1	(0796) 22-4407
丹波OB大学	〒669-3309 丹波市柏原町柏原 5600	(0795) 72-5170
淡路文化会館「いざなぎ学園」大学	〒656-1521 淡路市多賀 600	(0799) 85-1391